

令和7年度公共事業再評価
各種交付金事業及び県単事の事業点検項目表

| | | | |
|------|----------|-----|------------------|
| 事業主体 | 新潟県 | 事業名 | 防災・安全交付金（通常砂防事業） |
| 事業箇所 | 五泉市小山田地内 | 施設名 | 尾白川（おじろがわ） |

1 事業の概要

| | |
|--|--|
| <p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>尾白川は、新潟県五泉市小山田地内において、一級河川阿賀野川支川早出川支川新江川に合流する土石流危険渓流である。流域面積は、3.5km²を有し、渓床勾配は約1/5と非常に急峻である。河床部には河床堆積物あるいは氾濫原となる土石流堆積物が存在するためひとたび洪水が発生すれば、不安定土砂が一気に土石流となって流下する危険性が高い。</p> <p>流域内には、現在えん堤2基、溪流保全工、治山堰堤が整備されているが、現施設だけでは 今後の降雨により土砂・流木の流出が想定されることから1号えん堤を切下げ、部分透過型に改築することにより、土砂・流木の流出を防ぎ、民生安定化を図るものである。</p> | |
| <p>② 事業内容</p> <p>砂防えん堤 1基（既存えん堤工の改築） H=10.0m、L=76.0m、V=1,915m³ 工事用道路工 L=200m</p> | <p>③ 残事業内容</p> <p>砂防えん堤 1基（既存えん堤工の改築） H=10.0m、L=76.0m、V=1,915m³ 工事用道路工 L=180m</p> |
| <p>④ 総事業費</p> <p>346百万円</p> | <p>⑦ 進捗率（事業費ベース）</p> <p>29.1%（=101/346）</p> |
| <p>⑤ 執行済事業費</p> <p>101百万円</p> | <p>⑧ 費用対効果(B/C)〔基準年 R7年〕</p> <p>B/C : 3.0</p> |
| <p>⑥ R7年度以降残事業費</p> <p>245百万円</p> | <p>総費用 : 323百万円 総便益 : 970百万円</p> |

2 事業点検の視点

| |
|---|
| <p>⑨ 事業の進捗状況（遅れがある場合はそれを取り戻す工夫や取り組み状況も併せて記載）</p> <p>令和5年度までに用地買収が完了しており、工事用道路及び仮水路も令和8年度に完了予定である。堰堤の改築を計画的に進め、事業の早期完了を図る。</p> |
| <p>⑩ 社会経済情勢の変化の有無（事業採択時に比較して著しい変化のある事項）</p> <p>特になし</p> |
| <p>⑪ コスト縮減、代替案の可能性の有無</p> <p>構造特性、施工性や経済性等を比較して、効率的な施工計画としており、代替案による計画見直しの予定はない</p> |
| <p>⑫ 関係機関等の意向、関連事業と調整状況等</p> <p>調整を要する関係機関は特になし</p> |

3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

| |
|---|
| <p>令和5年度までに用地買収が完了しており、地元の協力も得られている。今後とも土石流災害から人命・財産等を守るため、砂防施設の整備を実施し令和12年度の完了にむけて事業進捗を図る。</p> |
|---|

※ ④及び⑧は「当初」又は「直近の見直し時」の数値とする。ただし、⑧については、B/Cによらない事業など、事業の性格により空欄とすることも可。

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費等の総額

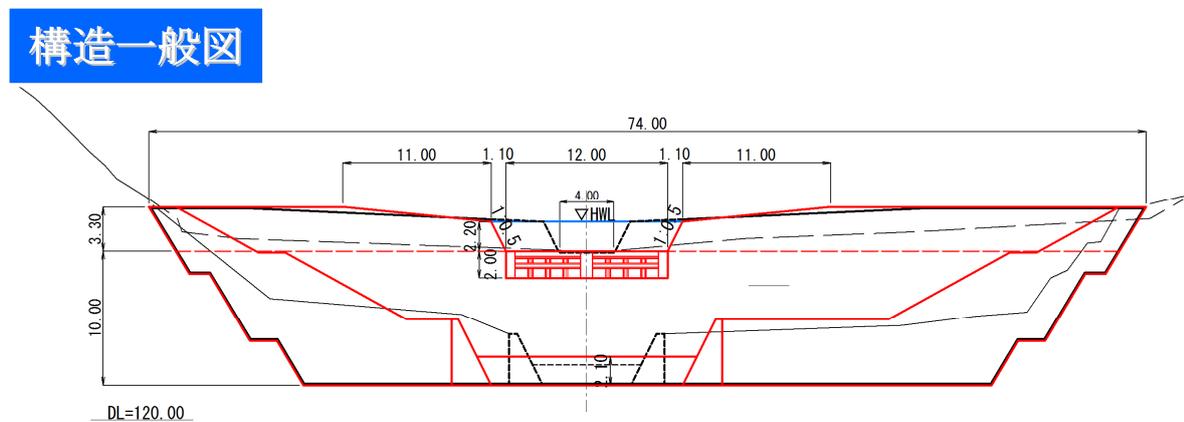
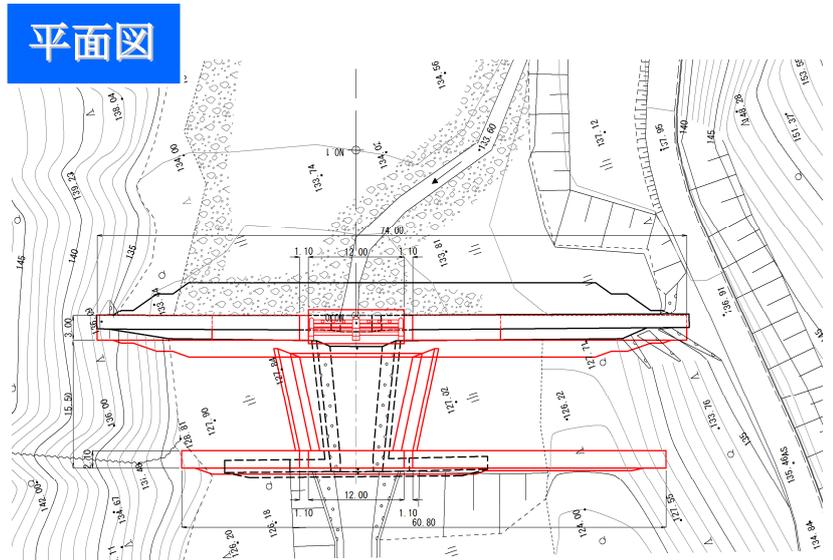
※ 総費用：総事業費に維持管理費（下水道事業は更新費用も含む）を加え、その金額を現在価値化したもの

4 事業実施経緯

| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 |
|-----------------|------------------------|--------|-----------------------|-------|-------|
| 実施年度 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 事業費 (単位：百万円) | 34.6 | 4.9 | 28.4 | 33.5 | 5 |
| 事業内容 | 測量委託 地質調査委託 設計委託 | 用地測量委託 | 用地測量 用地買収 工事用道路 | 工事用道路 | 工事用道路 |

ポンチ絵

(位置図、平面図、構造一般図等)



令和7年度公共事業再評価
各種交付金事業及び県単事の事業点検項目表

| | | | |
|------|----------------|-----|-------------------------|
| 事業主体 | 新潟県 | 事業名 | 交通安全対策補助(通学路緊急対策)(街路事業) |
| 事業箇所 | 見附市学校町～見附市新町地内 | 施設名 | (都)見附下新町線 学校町新町工区 |

1 事業の概要

| | |
|---|---|
| <p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>都市計画道路3・4・103号見附下新町線は、見附市の中心市街地を南北に縦貫する路線であり、見附市都市計画マスタープランにおいて、近隣都市間や地域拠点間の連携強化を図る道路として位置付けられている。事業区間は、見附小学校の通学路に指定されているが、歩道が未整備で路肩も狭いことから通学する児童が危険にさらされており、見附市通学路交通安全プログラムにおいて要対策箇所となっている。また、現道は幅員狭小のため、車両のすれ違いが困難となっており、円滑な交通に支障が生じている。</p> <p>本事業は道路の拡幅および歩道の設置をすることにより、車両の円滑な交通の確保と通学児童の安全の確保を図ることを目的とした事業である。</p> | |
| <p>② 事業内容</p> <p>L=0.96km 道路拡幅、歩道設置</p> | <p>③ 残事業内容</p> <p>L=0.96km 道路拡幅、歩道設置</p> |
| <p>④ 総事業費</p> <p>2,025百万円(当初 1,748百万円)</p> | <p>⑦ 進捗率(事業費ベース)</p> <p>78.2%(=1,583/2,025)</p> |
| <p>⑤ 執行済事業費</p> <p>1,583百万円</p> | <p>⑧ 費用対効果(B/C)〔基準年 R2年〕</p> <p>B/C:1.2 総費用:1,444百万円 総便益:1,728百万円</p> |
| <p>⑥ R7年度以降残事業費</p> <p>442百万円</p> | |

2 事業点検の視点

| |
|--|
| <p>⑨ 事業の進捗状況(遅れがある場合はそれを取り戻す工夫や取り組み状況も併せて記載)</p> <p>概ね当初の事業工程通りに進捗している。 資材や労務費の高騰により、物件補償費が増額し、当初想定より総事業費が増えている。</p> |
| <p>⑩ 社会経済情勢の変化の有無(事業採択時に比較して著しい変化のある事項)</p> <p>特になし。</p> |
| <p>⑪ コスト縮減、代替案の可能性の有無</p> <p>都市計画決定されており、法線等の代替案の検討は行わない。</p> |
| <p>⑫ 関係機関等の意向、関連事業と調整状況等</p> <p>見附市通学路交通安全プログラムにおける要対策箇所となっており、早期整備が求められている。</p> |

3 今後の実施方針(案) ※今後の見通しを併せて記載のこと

| |
|--|
| <p>概ね当初の事業工程通りに進捗しており、引き続き事業完了に向けて進捗を図る。</p> |
|--|

※ ④及び⑧は「当初」又は「直近の見直し時」の数値とする。ただし、⑧については、B/Cによらない事業など、事業の性格により空欄とすることも可。

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費及び更新費を加え、その金額を現在価値化したも

令和7年度公共事業再評価
各種交付金事業及び県単事の事業点検項目表

| | | | |
|------|-----------|-----|----------------|
| 事業主体 | 新潟県 | 事業名 | 防災・安全交付金（街路事業） |
| 事業箇所 | 三条市南四日町地内 | 施設名 | （都）三条四日町線 |

1 事業の概要

| | |
|--|---|
| <p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>都市計画道路3・5・22号三条四日町線は、三条市の中心市街地を南北に縦貫する路線であり、三条市都市計画マスタープランにおいて、近隣都市間や地域拠点間の連携強化を図る道路として位置付けられている。事業区間は、嵐南小学校の通学路に指定されているが、歩道が未整備で路肩も狭いことから通学する児童が危険にさらされており、三条市通学路交通安全プログラムにおいて要対策箇所となっている。また、自動車は歩行者を避けるため速度を落として通行する必要があり、円滑な交通に支障が生じている。なお、事業区間では、令和2年12月に自動車と自転車の接触による死亡事故が発生しており、安全確保のための道路整備が急務である。</p> <p>本事業は歩道の設置をすることにより、車両の円滑な交通の確保と通学児童の安全の確保を図ることを目的とした事業である。</p> | |
| <p>② 事業内容</p> <p>L=0.51km 歩道設置</p> | <p>③ 残事業内容</p> <p>L=0.51km 歩道設置</p> |
| <p>④ 総事業費</p> <p>1,447百万円（当初 1,257百万円）</p> | <p>⑦ 進捗率（事業費ベース）</p> <p>44.3%（=641/1,447）</p> |
| <p>⑤ 執行済事業費</p> <p>641百万円</p> | <p>⑧ 費用対効果(B/C)〔基準年 R3年〕</p> <p>B/C : 1.2</p> |
| <p>⑥ R7年度以降残事業費</p> <p>806百万円</p> | <p>総費用 : 983百万円</p> <p>総便益 : 1,178百万円</p> |

2 事業点検の視点

| |
|---|
| <p>⑨ 事業の進捗状況（遅れがある場合はそれを取り戻す工夫や取り組み状況も併せて記載）</p> <p>一部の事業用地の取得において、地権者と補償内容の折り合いがつかず時間を要しているが、引き続き早期買収に努める。</p> <p>用地取得済みの箇所から順次工事に着手する予定としている。</p> <p>資材や労務費の高騰により、物件補償費が増額し、当初想定より総事業費が増えている。</p> |
| <p>⑩ 社会経済情勢の変化の有無（事業採択時に比較して著しい変化のある事項）</p> <p>特になし。</p> |
| <p>⑪ コスト縮減、代替案の可能性の有無</p> <p>都市計画決定されており、法線等の代替案の検討は行わない。</p> |
| <p>⑫ 関係機関等の意向、関連事業と調整状況等</p> <p>地元自治会から早期整備の要望がある。</p> <p>三条市通学路交通安全プログラムにおける要対策箇所となっており、早期整備が求められている。</p> |

3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

| |
|---|
| <p>一部の事業用地の取得において時間を要しているが、早期買収に努め、引き続き事業完了に向けて進捗を図る。</p> |
|---|

※ ④及び⑧は「当初」又は「直近の見直し時」の数値とする。ただし、⑧については、B/Cによらない事業など、事業の性格により空欄とすることも可。

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費及び更新費を加え、その金額を現在価値化したもの

4 事業実施経緯

| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 |
|-----------------|--------------|----------------|------|--------------|--------------|
| 実施年度 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 |
| 事業費 (単位：百万円) | 14 | 31 | 68 | 263 | 265 |
| 事業内容 | 道路設計 地質調査 | 橋梁詳細設計 用地測量 | 物件調査 | 用地買収 物件補償 | 用地買収 物件補償 |

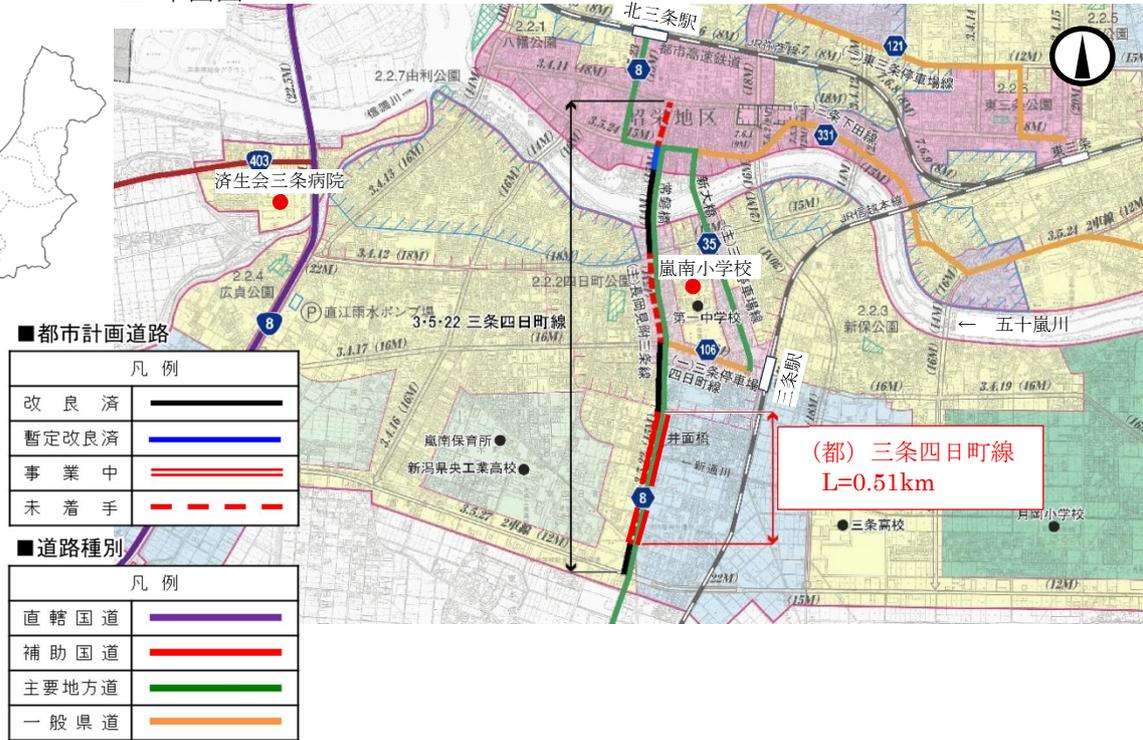
ポンチ絵

(位置図、平面図、構造一般図等)

■ 位置図



■ 平面図



■ 標準横断面図

